

「駅前放置自転車等の現況と対策—令和3年度調査—」について — 調査結果の概要 —

※自転車等・・・自転車及び原動機付自転車

※自転車等駐車場・・・自転車、原動機付自転車及び自動二輪車の駐車場で、不特定多数の者が利用可能なもの

1 駅周辺における自転車等の放置状況 【図-1】参照

都内の駅周辺（駅から概ね半径 500m以内の区域）における自転車、原付及び自二を含む乗入台数（放置台数と自転車等駐車場の駐車台数の合計）は 527,694 台でした。このうち、自転車の乗入台数は 511,035 台で、そのうち **493,118 台（96.5%）** が自転車等駐車場に駐車され、残りの **17,917 台（3.5%）** が路上などに放置されていました。

(1) 自転車、原動機付自転車及び自動二輪車の放置台数

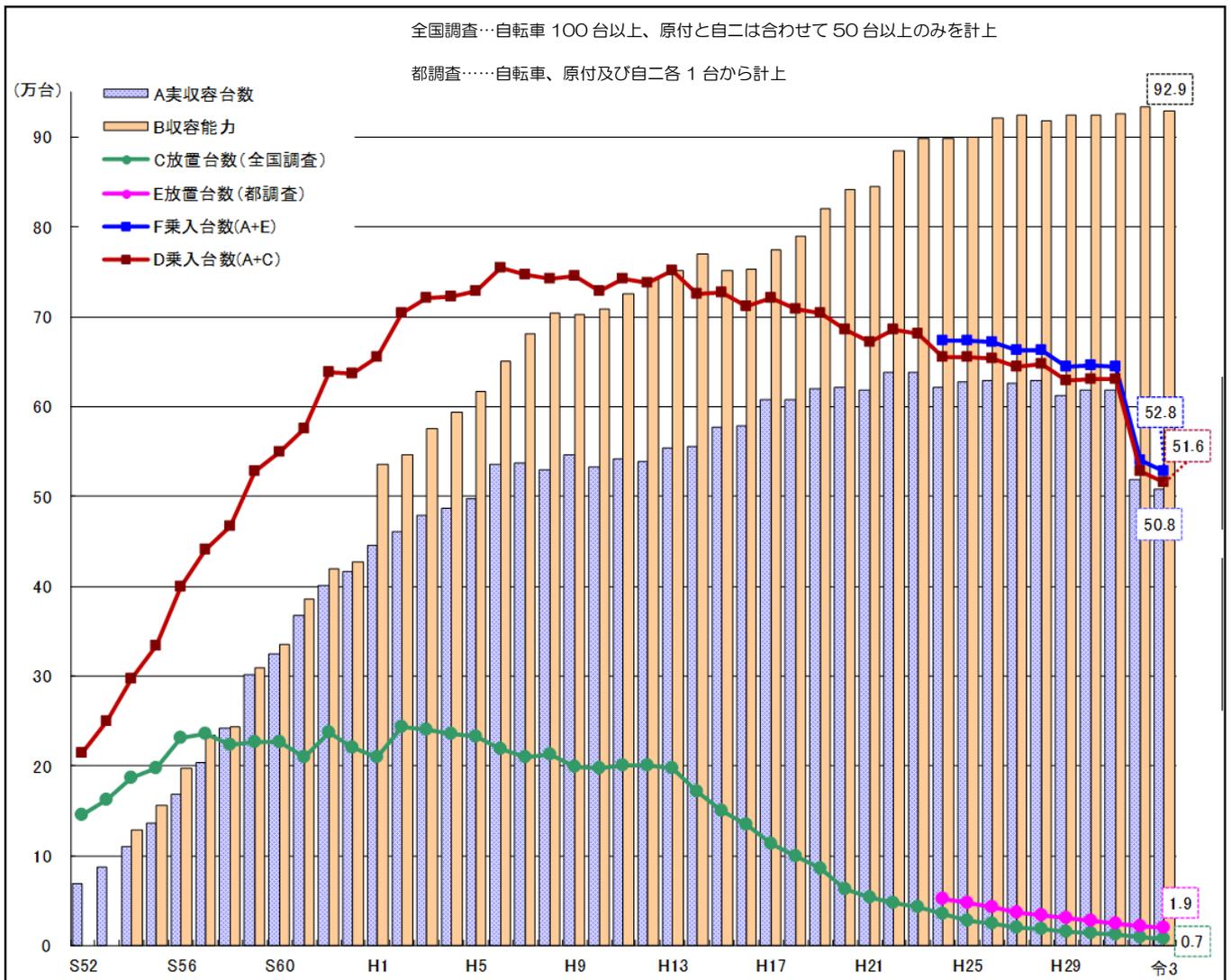
自転車、原付及び自二の放置台数は、**19,430 台（前年度比 1,605 台減）** でした。

うち、自転車のみの放置台数は、**17,917 台（前年度比 1,570 台減）** でした。

(2) 自転車の放置率（乗入台数に占める放置台数の割合）・・・区部 5.2%、市部 0.7%、町村部 0.4%

自転車の放置率は区部が高く、高い順に、千代田区 37.5%、渋谷区 30.7%、港区 28.2%、台東区 25.2%、文京区 20.5%、でした。

【図-1】 放置台数・実収容台数・収容能力・乗入台数推移（自転車、原付及び自二を含む。）

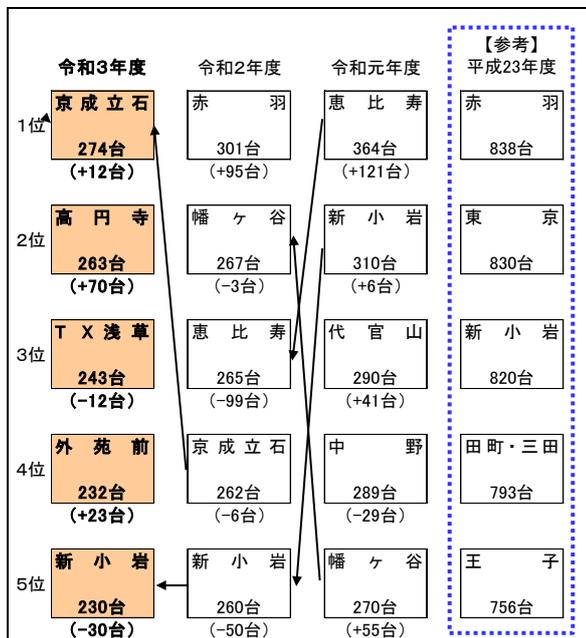


2 放置台数及び乗入台数が多い駅

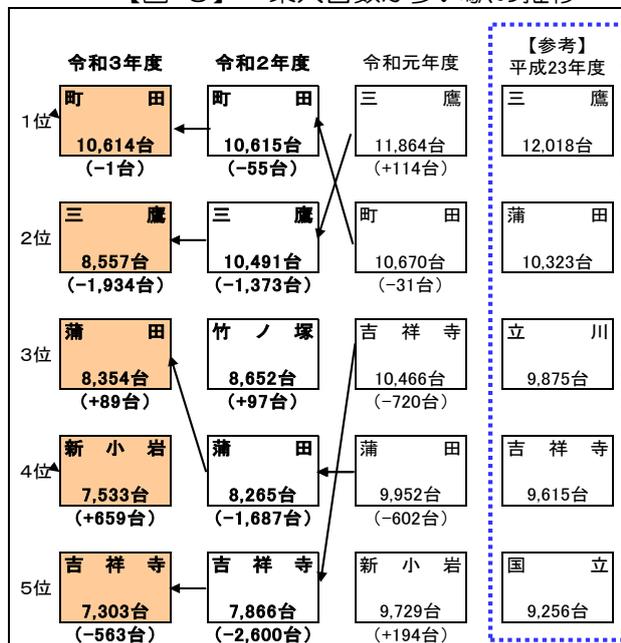
自転車等（原付及び自二を含む。）の放置台数が上位の駅も、年々、台数は減少傾向にあります。

- (1) 放置台数が多い駅 図-2参照
- (2) 乗入台数が多い駅 図-3参照

【図-2】 放置台数が多い駅の推移



【図-3】 乗入台数が多い駅の推移



() 内は前年度の台数からの増減

3 放置自転車等の減少へ向けた主な対策

良好な交通環境を整備するとともに街の美観を確保するため、区市町村をはじめ鉄道・バス事業者、警察、商工関係団体等と連携しながら放置自転車対策に取り組んでいます。

(1) 自転車等駐車場の設置等

令和2年度における区市町村の投資的経費（自転車等駐車場の整備等に要する経費）は、**約19.1億円**（元年度比**約19.3億円減**）でした。

(2) 自転車等駐車場の維持管理・放置自転車の撤去等

令和2年度における区市町村の消費的経費（自転車等駐車場の維持管理や放置自転車等の撤去等に要する経費）は、**約156.7億円**（元年度比**約5.5億円増**）でした。そのうち、放置自転車の撤去、保管及び返還に要する経費は、**約45.6億円**でした。

(3) 都内6区との協働体制

駅前放置自転車の多い6区（千代田区、中央区、港区、新宿区、文京区、台東区）と放置自転車対策協議会を開催し、各区のノウハウを共有するなど放置自転車対策の推進を図りました。

(4) 駅前放置自転車クリーンキャンペーン

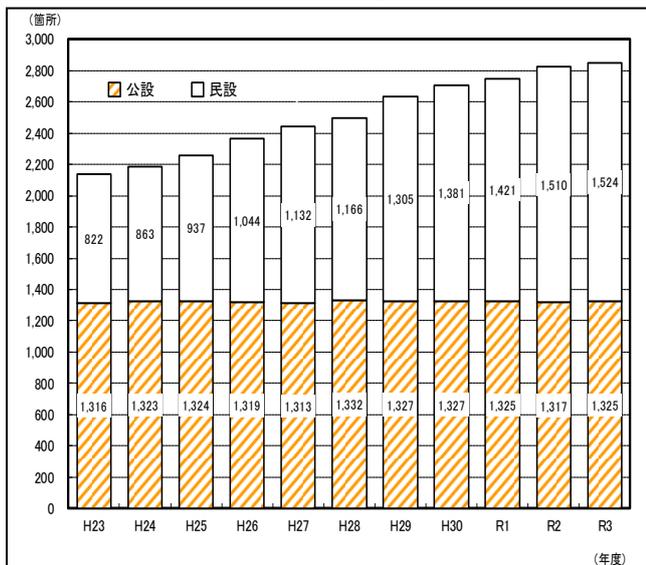
令和3年10月の「駅前放置自転車クリーンキャンペーン」では、駅構内や電車・バス車内へのポスター掲出のほか、街頭ビジョンや公共施設等のデジタルサイネージ、ウェブ広告を活用した広報活動を展開しました。さらにキャンペーン期間中は、区市町村による放置自転車の撤去を積極的に実施しました。

- ・駅前等での広報啓発活動：110駅実施、延べ323日
- ・ポスター掲出：約4万枚
- ・リーフレット配布：約17.3万枚
- ・放置自転車の撤去：422駅実施、4,520台撤去
- ・その他、広報動画を制作し街頭ビジョンやデジタルサイネージで放映

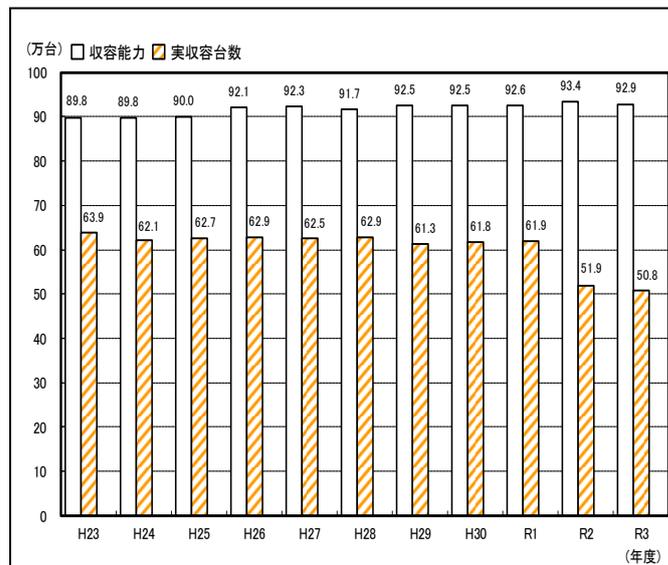
4 自転車等駐車場の設置状況 【図-4、5】参照

- 令和3年8月末日現在、駅周辺の自転車等駐車場は、2,849箇所（前年度比 22箇所増）でした。そのうち公設は 1,325箇所（前年度比 8箇所増）、民設は 1,524箇所（前年度比 14箇所増）でした。近年は、民間事業者による自転車等駐車場の設置が増加しています。
- 収容能力は、928,799台（前年度比 4,965台減）、実収容台数は、508,264台（前年度比 10,699台減）でした。

【図-4】設置者別自転車等駐車場数の推移



【図-5】収容能力及び実収容台数の推移

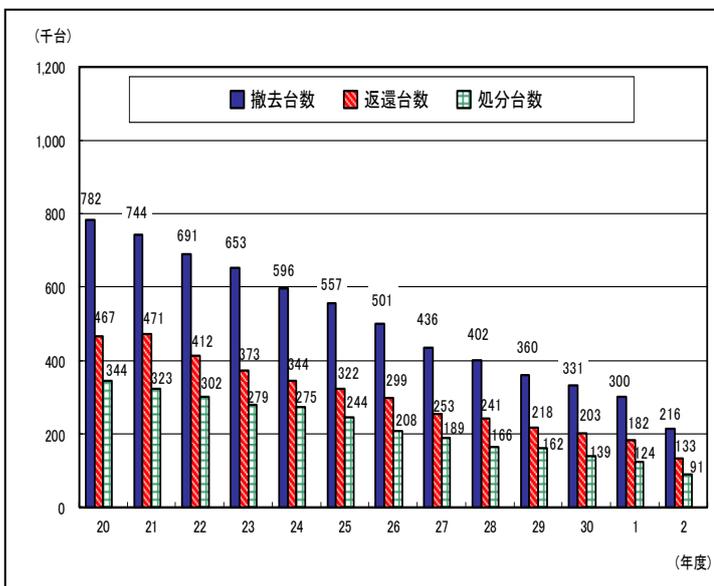


5 令和2年度における放置自転車等の撤去、処分等の状況 【図-6、7】参照

- 令和2年度に区市町村が撤去した放置自転車等：215,609台（元年度比 84,481台減）
- 令和2年度に持ち主に返還された台数：132,834台（元年度比 49,025台減）
- 令和2年度に区市町村が処分した台数：90,857台（元年度比 33,226台減）

※ 返還台数、処分台数には、令和元年度中に撤去されたものを含まず。

【図-6】放置自転車等の撤去・返還・処分台数の推移



【図-7】撤去自転車及び原動機付自転車の処分内訳

- ・廃棄処分 (A+B)：15,048台 (16.6%)
- ・鉄くずとして資源活用 (C+D)：5,036台 (5.5%)
- ・リサイクル用途 (F+G)：70,773台 (77.9%)

